



Confidence in a connected world.



IT管理者に朗報！
新規ソフトウェア導入時における問題を一気に
解決するソリューションとは？

株式会社シマンテック

革新的なソフトウェア仮想化ソリューション とは？



Altiris Software Virtualization Solution



Software Virtualization Solution (SVS)

⇒迅速かつシンプルなデスクトップアプリケーションの管理が可能

SVSの革新的な技術により、アプリケーションの実行に関連する以下の機能を提供:

- 即座にアプリケーションをアクティブ化
- 即座にアプリケーションを非アクティブ化
- 即座にアプリケーションを初期状態時にリセット
- アプリケーション間の競合を回避

⇒ソフトウェア管理における様々な問題を解決！

仮想デスクトップアプリケーションの配布を簡単に実現

- 管理者側から仮想アプリケーションの配布が可能
- 他のアプリケーションとの競合なし
- 再起動を伴わないインストール/アンインストール
- データ層の仮想化も可能

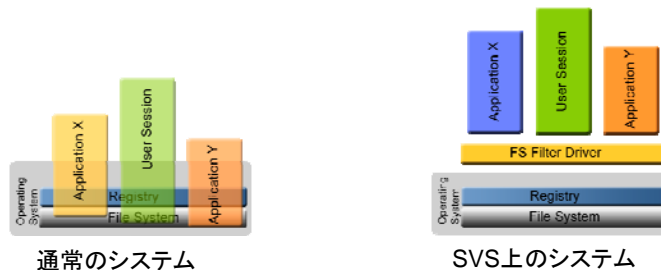
【ソフトウェア・バーチャリゼーションの管理画面】

【瞬時にアプリケーションのインストールが可能】



Software Virtualization Solution (SVS)はFile System Layeringと呼ばれる特許取得技術を使用し、仮想的にアプリケーションをOS上にインストールさせると共に、システムのベースライン上の構成とは切り離れた形で実行させる事でシステムへの影響を最大限に減らします。

OSや他のアプリケーションに影響を与えない上に、エンドユーザーは仮想レイヤー上での動作を意識する事無くアプリケーションを実行する事が可能です。



ソフトウェア管理における問題点



Presentation Identifier Goes Here

5

ソフトウェア管理#1 準備における問題点



新規ソフトウェアの導入により、時間及びコスト消費を伴う事前検証作業が発生

- 既存アプリケーションとの競合が発生する可能性
- 共通ファイル(DLL)の上書きが他のアプリケーションに影響を及ぼす可能性
- 他のアプリケーションの特定バージョンに依存する社内カスタムアプリケーションの存在

Presentation Identifier Goes Here

6

ソフトウェア管理#1 準備段階においてSVSがもたらすメリット



新規ソフトウェアの導入により、時間及びコスト消費を伴う 事前検証作業が発生

- 既存アプリケーションとの競合が発生する可能性
⇒ OS及びファイルシステムと切り離されて実行する為影響無し
- 共通ファイル(DLL)の上書きが他のアプリケーションに影響を及ぼす可能性
⇒ アプリケーションは別レイヤー上で動作する為影響無し
- 他のアプリケーションの特定バージョンに依存する社内カスタムアプリケーションの存在
⇒ 既存アプリケーションを残したまま新規バージョンをインストール可能

ソフトウェア管理#2 配布における問題点



ソフトウェアのインストールにより発生する問題点

- エンドユーザー環境を壊す可能性
- 再起動を要するソフトウェアの場合ダウンタイムが発生
- エンドユーザー向けインストール手順書の作成

ソフトウェア管理#2 配布段階においてSVSがもたらすメリット



ソフトウェアのインストールにより発生する問題点

- エンドユーザー環境を壊す可能性
⇒ 各ユーザー毎にPC環境は異なるが、OSやファイルシステムとは隔離した状態で実行可能
- 再起動を要するソフトウェアの場合ダウンタイムが発生
⇒ インストール時に再起動が発生しない
- エンドユーザー向けインストール手順書の作成
⇒ 管理者側で設定した標準設定でアプリケーション配布

ソフトウェア管理#3 サポートにおける問題点



ソフトウェア競合による問題

- PC復旧作業による業務効率の低下
- ITヘルプデスクの問題解決作業発生。切り分けが困難な上にロールバックが不可能

ソフトウェア管理#3 サポートにおいてSVSがもたらすメリット



ソフトウェア競合による問題

■PC復旧作業による業務効率の低下
⇒ダウンタイムを伴わず安定稼働可能

■ITヘルプデスクの問題解決作業発生。切り分けが困難な上にロールバックが不可能
⇒初期インストール状態に瞬時リセット可能。サポートコストを大幅に削減

ソフトウェア管理#4 SWアップグレードにおける問題点



事前検証作業を要する既存製品バージョンからの製品アップグレード作業

■ユーザーインターフェースや機能変更を考慮し綿密な事前プランニングが不可欠

■製品アップグレードによる問題確認の為、手間とコストのかかる事前検証作業

ソフトウェア管理#4 SWアップグレードにおいてSVSがもたらすメリット



事前検証作業を要する既存製品バージョンからの製品アップグレード作業

- ユーザーインターフェースや機能変更を考慮し綿密な事前プランニングが不可欠
⇒既存バージョンを残したまま新規バージョンのインストールが可能。これによりスムーズな移行を実現
- 製品アップグレードによる問題確認の為、手間とコストのかかる事前検証作業
⇒複数バージョンの同居が可能。他のアプリケーションや既存アプリケーションとの競合を意識する事無く運用可能。

ソフトウェア管理#5 アンインストール時の問題点



製品のクリーンアンインストールは極めて困難

- ソフトウェア削除により他のアプリケーションに影響
- アンインストールによりOS本体への影響
- アンインストールに伴う再起動

ソフトウェア管理#5 アンインストールにおいてSVSがもたらすメリット



製品のクリーンアンインストールは極めて困難

■ソフトウェア削除により他のアプリケーションに影響
⇒独自のレイヤー上で動作する為影響が発生しない

■アンインストールによりOS本体への影響
⇒OSとは切り離されて実行される為影響が発生しない

■アンインストールに伴う再起動
⇒再起動を考慮する必要が無い

Presentation Identifier Goes Here

15

サンプルシナリオ



- A社はXアプリケーションの旧バージョンに依存する社内アプリケーションを業務で使用。新規バージョンの導入にはコード変更が不可欠だがプロジェクトは滞っている。この為未だに新バージョンの導入に踏み切れない。また旧バージョンのサポート終了期限も迫っている。
⇒SVSにより新規バージョンも同居可能。コード変更が完了するまでのスムーズな移行や検証を実現
- B社はアプリケーションのバージョンアップを計画しているが、現行バージョンに慣れ親しんだ社員からは反対の声も多い。新バージョン導入直後は操作性に戸惑うユーザーの業務効率低下も懸念される。
⇒複数バージョンの同居により新規バージョンへの移行もスムーズに実現
- C社のIT管理者は新規アプリケーションの導入を検討中。しかしながら社員は各自任意のアプリケーションをインストールしており、事前検証は極めて困難。導入に踏み切った場合でもサポートの負担が予想される。
⇒SVSは独立したレイヤー上で動作。内部ファイル書き換え等、他のアプリケーションに及ぼす影響を回避し、事前検証時間とコストを大幅削減
- D社のヘルプデスクスタッフはアプリケーションのインストール方法に関する問い合わせや運用後のトラブルシューティングに頭を抱えている。インストール手順書を作成したものの正しく利用されていない。問題解決にかかるコストもかかり、ロールバックは極めて困難。
⇒IT管理者が設定した内容を社内環境に配布する為手順書が不要。また、SVSのリセット機能により初期インストール状態に瞬時復旧。

Presentation Identifier Goes Here

16

- **管理者側から迅速に仮想アプリケーションの配布が可能**
⇒ 企業標準アプリケーション及びその設定をスケジュール配布。インストール手順書作成等のコストを削減
- **システムの安定性と信頼性の向上**
⇒ 内部ファイルの書き換え等、他のアプリケーションが及ぼす影響を回避
- **同一アプリケーションの複数バージョンを同居**
⇒ バージョンアップに伴う事前検証時間やそれに伴うコストの削減
- **再起動を伴わないインストール/アンインストール**
⇒ ユーザー側でのダウンタイム発生を回避
- **ソフトウェアエラーからインストール時の状態に瞬時修復可能**
⇒ 問題解決を迅速化



つながる世界。つなげる安心。

Thank you.